

## はじめに

我が国が将来にわたり活力のある社会・経済を創造していくためには、多様な人材の能力を活用するとともに、多様な視点を導入し、新たな発想を取り入れていくことが重要である。

こうした観点から、平成 15 年 6 月に男女共同参画推進本部において「2020 年までに、あらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合が少なくとも 30%程度」という目標が決定され、目標達成に向けて様々な取組が行われてきた。

しかし、女性の社会的参画、特に意思決定過程への参画は遅れており、政治分野、行政分野、教育・研究分野、その他の専門的職業の多くは、女性が占める割合が 30%未満となっている。

こうした状況を打開するため、女性の参画加速のための基盤整備を行うとともに、社会の中で活躍が期待されながら女性の参画が進んでいない医師、研究者、公務員に焦点を当て、重点的に取組を進める「女性の参画加速プログラム」（平成 20 年 4 月 8 日男女共同参画推進本部決定）が策定された。

本調査では、専門職の中でも、医師を始めとする医療関係者、研究者、メディアの 3 分野について、諸外国（スウェーデン、韓国、スペイン、アメリカ合衆国）における専門職への女性の参画に関して調査・研究を行うこととした。

本報告書は、調査研究会事務局の調査・分析を基に、内閣府男女共同参画局において再編成したものである。

なお、本調査では多数の機関に協力を得たが、個別機関の取組事例も多く含まれており、各国の専門職への女性の参画に関するすべての制度・取組を包括的に調査したものではないことには留意が必要である。